

大阪は「まち」がほんまにおもしろい



# 幻の古代豪族・依羅吾彦を訪ねて ～止止呂支比売命神社とあびこ観音～

上町台地の南に位置するあびこ界隈は、古くから開けた土地で、古代豪族・依羅吾彦の本拠地でした。依羅吾彦の一族は百濟の聖明王から観音菩薩を送られて、これが欽明天皇7年(546)に創建された吾彦山大聖観音寺(通称・あびこ観音)となります。日本最初の観世音信仰のお寺といわれて、いまでも節分時期には参詣者で大いに賑わいます。このあびこ観音を目指して、謎めいた古代の大阪を訪ねる、そんなまち歩きです。

## ⑦ 殿辻交差点

地名の由来は、この辻より西に、住吉大社ゆかりの寺・瑠璃寺(津守廃寺)や、住吉大社の宮司・津守家の館、また住吉大社の「正印」を納める正印殿(住吉行宮)など、大きい御殿が並んでいたもので御殿に通じる道の意味と考えられています。

## ⑧ 住吉区民センター

平成19年12月竣工。900席の大ホール、300席の小ホール、4つの教室、アトリエ、調理室、和室を備えています。区民対象のパソコン教室、英会話教室、社交ダンス教室、ヨガ教室などが開講され、区民交流の中心として活用されています。

## ⑨ あびこ餅本舗

昭和27年(1952)開業。先代が考案した「厄除けまんじゅう」が評判を呼び、現在、節分時には1000人を超える人が行列を作ります。あびこ観音の「節分厄除け大法会」(2月1日から7日間)に合わせて、1月20日から5月頃までの期間限定の商品です。

## ⑩ 神光寺

修験道(山伏)は今から1300年前、役行者(えんのぎょうじゃ)が葛城、大峰山で修業して開いた日本独特の宗教です。自然崇拜の山岳宗教と祖先崇拜の仏教が融合したもので、山岳修行で心身を修練し、悟りを開く実践仏教です。修験道には大きく二派あり、この寺は本山修験宗、聖護院門跡の末寺です。

## ⑪ 吾彦山大聖観音寺(あびこ観音)

寺伝によると、古代豪族・依羅吾彦の一族を中心に、百濟から請来の聖観音胎内仏が信仰を集めました。しかし聖徳太子は観音信仰を敬って当地に寺を建立して、これがあびこ観音の始まりです。行方不明となっていた聖観音胎内仏は、和泉国で行基上人が発見して、聖武天皇の病気を治癒しますが、あいつく戦乱で高野山に移り、一時期は家康の念持仏となりましたが、盛長上人が徳川幕府と掛け合せて、寛永17年(1640)に帰山しました。明治14年(1881)に大火がありましたが、明治23年(1890)に再建、復興を果たしました。2月の「節分厄除け大法会」は非常に有名で、信者が駅から境内までを埋め尽くします。

## ⑫ 地下鉄あびこ中央商店街

「あびんこ」の愛称で知られる約150店舗ほどの商店街です。マスコットキャラクターの製作や、毎年3月の「あびんこ祭り」では地元中学のバンドや和太鼓演奏などが行われます。また「一店逸品運動」を展開して、地元の福祉協議会製作の商品を売り出すなど活発な活動に取り組んでいます。何でも揃う、人通りの絶えない、活気ある商店街です。

## ① 遠里小野商店街

遠里小野(おりおの)は「万葉集」にも詠まれています。土地の方は「瓜野(うりの)」と呼ばれます。また「太平記」巻二十五には瓜生野(うりふの)ともあります。古代の遺跡も発掘されましたが、室町時代から人が集まり、村を作り始めたようで、特に江戸時代、菜種油の大産地として栄えました。当時は村の周囲を堀で囲む環濠集落で、油茶屋と呼ばれる、油の値段を決める会所もありましたが、明治以降、外国の機械製油に押されて、生産されなくなりました。

## ② 安楽寺

元龜2年(1571)、珠盛上人の創建です。昭和52年(1977)、本堂改築したときに、それまで西方山と号していましたが、清浄山往生院と山号を改名しました。浄土宗知恩院派で阿彌陀如来を本尊とします。この寺の表に「八尾街道分岐点」の道標があり、下記の文字が刻まれています。この道標は現在地より南に建てられていました。正面に「右 八尾街道 我孫子 平野郷 八尾」。左面に「左 阿倍野街道 住吉 天王寺」。右面に「明治三十五年十二月 建之 大阪府」と記載されています。

## ③ 極楽寺

榎津寺に極楽院があり、それが極楽寺の前身とされていますが、創建は不明です。本尊の毘沙門天は、信貴山の毘沙門天と同じ材と言われており、重要文化財に指定されています。楠木正成の両親が「子供を授かるように」と本尊にお願いして出来たのが正成で、そのお礼に正成が寄進したという石灯籠(重要文化財)が境内にあり、正成公のお手植えと伝えられる楠も見られます。

## ④ 安養寺

山号は木星山、浄土真宗本願寺派のお寺です。永禄2年(1559)堺で創建して、後に当地に移築されました。明治の歌人・与謝野鉄幹(寛)が実家の没落後、数年間だけ小僧として修業したことがあります。その後、鉄幹は岡山県、山口県と移り、明治25年(1892)に上京。落合直文の門下に入って和歌革新運動を起こし、明治32年(1899)には「東京新詩社」を設立して、翌年に雑誌「明星」を創刊しました。妻は与謝野晶子です。

## ⑤ 熊野街道

釈迦入滅1500年後は仏教が廃れ、不安な社会になる(末法思想)と、平安貴族は考えました。平安中期には当時の社会情勢の不安定とあいまって、弥陀・薬師・千手観音のおられる聖地・熊野への信仰が高まり、寛治4年(1090)、白河上皇の参詣をきっかけに、貴族間で熊野詣が盛んになりました。戦乱の続く鎌倉時代以降は、武士、民衆の参詣が始まり、「蟻の熊野詣」とまで言われました。

## ⑥ 止止呂支比売命神社

若松神社が地元の愛称です。ご祭神は、素盞鳴尊・稲田姫命を祀ります。式内社ですが創建年代は不明です。神功皇后の創設とも言われ、住吉大社の摂社(奥の院)でしたが、明治4年(1871)、独立分離して村社となりました。若松神社の名は承久3年(1221)、後鳥羽上皇が行幸したさい、津守経国が境内の松林の中に行宮を造り、若松御所と名付けた事によります。境内に「御鳥羽天皇行宮跡」が建立されています。明治40年(1907)、叡松原の「叡松原荒神社」、明治42年(1909)に遠里小野の「農神社」が遷座、合祀されています。



【注意事項】 この地図は「大阪あそ歩」のまち歩きの資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。

【お問い合わせ】 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩] でネット検索を。

大阪あそ歩のコースは約2~3km、2~3時間程度を基準として作成されています。